

# 荒川区の情報を発信しています

## あらかわ区報

原則月3回、区政に関する情報や生活に密着した情報を掲載しています。新聞折り込みや、公共施設・区内主要駅の広報スタンド、一部のコンビニエンスストアでの配布のほか、区内にお住まいで希望する方のご自宅にお届けしています。また、小・中学生を対象とした「あらかわ区報Jr.」を、区内の学校等で配布しています。

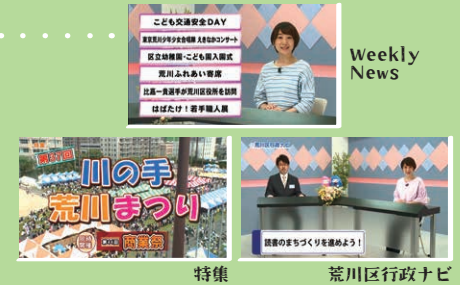


あらかわ区報・あらかわ区報 Jr. をスマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「マチイロ」で配信中!



## CATV マイチャンネルあらかわ (地上デジタル放送11ch)

区内の情報を伝えるケーブルテレビのコミュニティチャンネルです。区広報番組「こんにちは荒川区」では、区政情報や区内のニュース等、「あらかわ情報スクエア」では、講演会や演奏会の様子を放送しています。番組内容は1週間ごとに変ります。



## 荒川区ホームページ

暮らしの情報や施設案内、区政情報、観光や区のイベントに関する情報等を掲載しています。  
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/>



## メールマガジン

区からのお知らせやイベント情報、緊急情報等を、あらかじめ登録した携帯電話・スマートフォン・パソコン等のメールアドレスにお送りします。荒川区ホームページから無料で登録できます。



## SNS 各種

/ 荒川区X(旧Twitter)

区からのお知らせ/緊急情報/  
イベント情報等  
<https://twitter.com/arakawakukoho>



/ 荒川区Facebook

区からのお知らせ/緊急情報/  
イベント情報等  
<https://www.facebook.com/city.arakawa>



/ 荒川区LINE公式アカウント

区からのお知らせ/緊急情報/  
ごみ・資源の収集日に関する情報等  
<https://lin.ee/rVRwHTB>



/ 荒川区公式チャンネル

区広報番組「こんにちは荒川区」の放送  
内容の一部/区の事業/セミナー等  
<https://www.youtube.com/@cityarakawa>



ガイドマップ

あらかわ

Guide map ARAKAWA



荒川区

荒川区区政広報部広報課  
TEL 03-3802-4957(直通) 登録(05)0032号  
令和5年11月発行



都電荒川線「町屋駅前」駅付近

Let's Enjoy  
ARAKAWA





# 読書のまち



荒川区では、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言(平成30年5月)や、「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」の施行(令和5年4月)により、あらゆる世代の区民等が生涯にわたり豊かな心を育める読書のまちづくりを進めています。「あらかわ街なか図書館」は、区の施設や協力を得られる民間施設等に本棚を設置し、誰もが、いつでも身近に本に触れられる場となっています。



# 職人のまち



荒川区には、江戸から伝わる伝統工芸技術を受け継ぐ多くの職人がいます。伝統工芸は、貴重な無形文化財であるとともに、地域に根付いた区の地場産業です。区では、伝統工芸技術に親しむ場として「あらかわの伝統技術展」や「あらかわ学校職人教室」を開催しています。また、「あらかわ伝統工芸ギャラリー」を荒川ふるさと文化館に開設し、工芸品の展示、実演・体験等のイベントなどを行っています。伝統の技を未来へつなぐため、工芸技術を無形文化財として登録・指定をして保護するとともに、若手職人の育成支援(荒川の匠育成事業)に取り組んでいます。



# 俳句のまち



松尾芭蕉の「奥の細道」にゆかりのある荒川区は、平成27年3月に「荒川区俳句のまち宣言」を行いました。松尾芭蕉だけでなく、小林一茶や正岡子規等、多くの文人が俳句を詠み、「奥の細道矢立初めの地」である南千住をはじめ、多くの句碑が建立されています。また、区民の皆さんが俳句に親しめるよう「あらかわ俳壇」や「フォト俳句コンテスト」「子ども俳句相撲大会」といった、俳句のイベントを数多く開催しています。



# 史跡・文化財

荒川ふるさと文化館



荒川区の原始から古代を知るうえで貴重な遺跡として、日暮里延命院貝塚、道灌山遺跡、町屋四丁目実揚遺跡等があります。また、徳川家康が文禄3年(1594)に架けた千住大橋は、交通の要所としての歴史を伝えます。区内の社寺には、文学碑・記念碑、板碑や庚申塔等の石造物が数多く保存され、民俗・風習・文化や歴史を今に伝えています。街なかにも、100年以上前に建てられた煉瓦塀等の近代遺産が点在。さらに、国の重要無形民俗文化財「江戸の里神楽」を伝える西日暮里の松本社中は、都内の神社を中心にさまざまな場所で神楽を披露しています。



# 日暮里織維街



日暮里駅東側に延びる日暮里中央通りを中心とした「日暮里織維街」には、たくさんの生地・服飾関連品を取り扱う店舗が連なっています。生地を買い求める専門事業者だけでなく、一般の方もホームソーイングの材料を求めて訪れるほど、豊富な品揃えです。また、令和3年1月に開館した日暮里地域活性化施設「ふらっとにっぽり」は、観光等総合案内や休憩スペースを設けているほか、さまざまなイベントを実施する等、地域の活性化に取り組んでいます。



# あらかわ遊園



高さ40メートルの観覧車やイモムシ型のコースター等が人気の「のりもの広場」。「どうぶつ広場」にはウサギやモルモットと触れ合えるコーナーのほかに、アルパカ、カピバラ、フクロウもいます。室内遊び場の「わくわくパーク」は、身体と頭を使って楽しむ空間。夜間開園日にはイルミネーションが点灯し、昼間とは違う風景を楽しめます。各建物にベビールームや授乳室があり、小さなお子さん連れの方も安心です。



# 交流。ふれあい



ふれあい館・ひろば館では、世代を超えた交流の場として地域のふれあいを深めることができます。子ども向けのレクリエーションや、高齢者向けの催し等を実施しているほか、学習やサークル活動の場として利用することもできます。また、令和4年には、新たに「東尾久本町通りふれあい館」と「ひぐらしふれあい館」が開館しました。

# 都電荒川線



区内のほぼ真ん中を東西に走る、荒川区のシンボルでもある「都電荒川線」は、区民の暮らしにはなくてはならない交通手段です。沿線には、約4kmにわたりバラが植栽され、春と秋に見事な花が咲き誇り、区民の目を楽しませてくれます。



# ようこそ！あらかわ

Welcome to ARAKAWA



区の花



サクラ



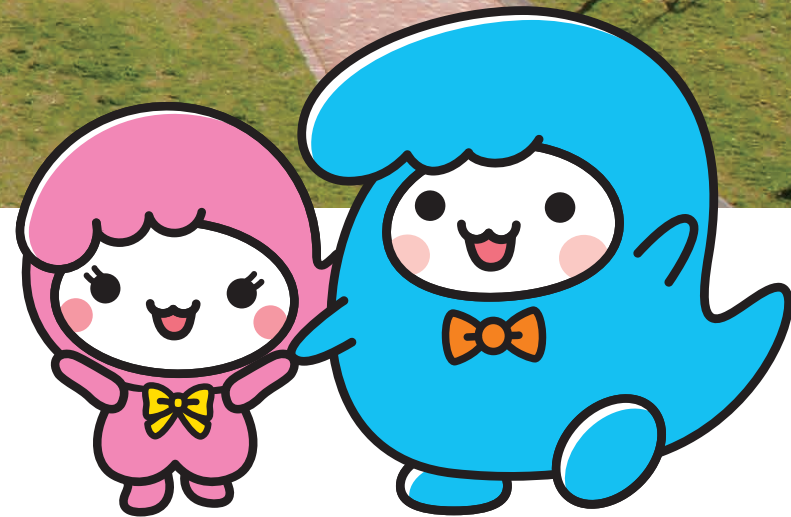
区の木



荒川区の面積は10.16㎢で、東京都の东北部に位置し、台東・文京・北・足立・墨田の各区に隣接しています。東西に長く、その大部分は起伏がなく平坦ですが、南西部に山手台地の一部があり、区の北東部を迂回するように隅田川が流れています。

人口は、21万8620人(12万1241世帯)です。世帯平均は1.8人で、年齢構成では65歳以上の高齢者人口が22.5%です(令和5年8月1日現在)。

区の北東部を流れる隅田川は、かつては荒川と呼ばれ、これが区名となりました。隅田川とは、南千住八丁目(汐入)より下流の呼び名でしたが、昭和40年(1965年)の河川法施行後、荒川放水路(現・荒川)との分岐点である岩淵水門(北区)から下流を隅田川と呼ぶことになりました。江戸時代は川辺の野原にサクラソウやレンゲの花が咲き乱れ、江戸の人々の憩いの場として親しまれていました。現在はスーパー堤防の整備や水辺と調和した環境整備等、人と隅田川との豊かな関係づくりが進められています。



あらみい

あら坊

荒川区シンボルキャラクター



荒川区の基本情報



# 荒川区

## 交通マップ

### 荒川区コミュニティバス

- さくらルート (循環運行)
- 汐入さくらルート (南千住駅西口～南千住駅東口往復運行)

### 自転車

- 自転車置場・自転車等駐車場
- 自転車置場・自転車等駐車場 (一時利用可能施設)

※シェアサイクルの貸出場所は左下のQRコードからご確認ください。

### 都営バス・京成バス

路線	起点	終点
上46	南千住駅東口 南千住車庫前	上野松坂屋前
草41	足立梅田町	浅草寿町
草43	足立区役所 千住車庫前	浅草雷門
草63	池袋駅東口 雷門一丁目	浅草寿町 池袋駅東口
草64	池袋駅東口	浅草雷門南
端44	北千住駅前	駒込病院前
里22	日暮里駅前	亀戸駅前
里48	日暮里駅前	江北六丁目団地前 見沼代親水公園駅前
里48-2	日暮里駅前	加賀団地 (循環)
東42-1	南千住車庫前・ 南千住駅西口	東京駅八重洲口
東42-2	南千住車庫前・ 南千住駅西口	東神田
東42-3	南千住車庫前	浅草雷門
東43	荒川土手操車所前 江北駅前	田端駅前 駒込病院前 東京駅丸の内北口
錦40	南千住駅東口	錦糸町駅前
都08	日暮里駅前	錦糸町駅前
京成バス		
北千01	北千住駅東口 (電大口)	南千住駅東口
北千02		



区内60か所以上!

## シェアサイクル実施中



### 利用方法

- ①スマホアプリ「HELLOCYCLING (ハローサイクリング)」をインストール
- ②利用者登録
- ③利用予約